



ワイビア®
wivia®

リリースノート

バージョン 4.3.0.0 / 3.8.0.0 - 2017/8/04 公開

- ※ wivia は、株式会社内田洋行の日本における登録商標です。
- ※ その他の製品名、システム名などは、一般に各社の登録商標または商標です。

■ 概要

wivia ファームウェア 4.3.0.0 および Windows/Mac 用 wivia ソフトウェア 3.8.0.0 では、最新のオペレーションシステムへの対応、アクセスポイント機能の通信品質の向上、機能の追加、改善と不具合の修正を実施しました。

本バージョンの wivia ファームウェアは、wivia 4 (モデル名: WV-BG-4, 商品コード: 4-850-0504) および wivia 3 (モデル名: WV-BG-3, 商品コード: 4-850-0503) に適用できます。wivia 4 および wivia 3 をお使いのすべての方に対し、本バージョンのファームウェアの適用を推奨します。

- ※ 5GHz 帯無線 LAN (IEEE 802.11a/n) は wivia 4 本体でのみ使用できます。wivia ファームウェア 4.0.0.0 を wivia 3 本体へ適用しても、5GHz 帯無線 LAN は使用できません。

■ 以前の wivia との互換性について

wivia ファームウェア 4.3.0.0 は、ファームウェア 3.0.0.0 以上の wivia 本体へ適用できます。Windows 用および Mac 用 wivia ソフトウェア 3.8.0.0 は、ファームウェア 2.0.0.0 以上の wivia 本体に対して使用できます。ただし、wivia ソフトウェア 3.0.0.0 以降に搭載された機能の一部については、wivia ファームウェアが 3.0.0.0 以上でないと使用できないものがあります。

■ ファームウェアアップデート適用上の注意

wivia ファームウェア 3.0.0.0 から wivia ファームウェア 4.3.0.0 へアップデートすると、以前に設定されていた背景が初期画面に戻ります。(その他の設定項目は引き継がれます。) アップデート適用後に、wivia 管理画面にて再度背景の設定を実施してください。なお、wivia ファームウェア 3.0.1.0 以降からのアップデートでは、以前に設定されていた背景が引き継がれます。

wivia ファームウェア 4.3.0.0 へのアップデート後に管理者、およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードを変更し、その後 wivia ファームウェア 3.1.1.0 以前へダウングレードした場合は、wivia ファームウェア 3.1.1.0 以前で使用していたパスワード (wivia ファームウェア 3.1.2.0 以降で出荷された wivia 本体の場合は初期値) に戻ります。以前のパスワードを紛失している場合は、wivia 本体背面にあるリセットスイッチで設定を初期化してください。リセットスイッチによる初期化の方法、初期化後の管理者およびカンファレンスコントロールユーザーのパスワードについては、wivia サポート Web サイトにある『wivia 取扱説明書』をご覧ください。

※ ファームウェアアップデート中は wivia 本体の電源を絶対に切らないでください。wivia 本体の故障の原因となります。

■ 動作要件

wivia ファームウェア 4.3.0.0 および wivia ソフトウェア 3.8.0.0 の対応オペレーティングシステムは以下のとおりです。

■ Windows 用 wivia ソフトウェア (32/64bit 共通)

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 Service Pack 1
- Windows Vista Service Pack 2

■ Mac 用 wivia ソフトウェア

- OS X 10.12.5
- OS X 10.11.6
- OS X 10.10.5
- OS X 10.9.5
- OS X 10.8.5
- OS X 10.7.5

■ 機能の追加、変更、および削除

[本体ファームウェア]

1. 画面解像度の HDMI 接続に、「自動検出」設定を追加しました。接続先モニターの推奨解像度を取得できた場合、自動で最適な解像度を適用します。本バージョンのファームウェア適用時には「自動検出」設定は適用されず、以前の設定が引き継がれます。

[Mac 用ソフトウェア]

1. 対応 OS に OS X 10.12 を追加しました。

■ 不具合の修正および品質の改善

[本体ファームウェア]

1. 無線 LAN 機能の 5GHz 帯の通信品質を改善しました。
2. 本体から出力される音声の音量レベルを調整しました。音量のレベルは 4.1.0.0 より大きくなり、4.0.0.0 と同じになります。
3. モニター等の一部の投影機器において、HDMI から音声が出力されない問題を修正しました。
4. ネットワークアドレス長が 24 ビットでない環境下において、動画の再生が行われない問題を修正しました。
5. 投影の開始、終了時の処理の修正および調整を行い、安定性が向上しました。その他、細かい修正を行いました。

[Windows 用 wivia ソフトウェア]

1. 「リモート USB」での投影中に、不要なログが蓄積される問題を修正しました。
2. 投影の開始、終了時の処理の修正及び調整を行い、安定性が向上しました。
3. wivia 拡張表示ドライバーの修正を行い、安定性が向上しました。

[Mac 用 wivia ソフトウェア]

1. 投影の開始、終了時の処理の修正及び調整を行い、安定性が向上しました。

■ 制限事項

1. Windows用 wivia ソフトウェアやその他のソフトウェアを wivia 本体、または wivia サポート Web サイトよりダウンロードする際に、お使いのセキュリティソフトウェアにより「安全性を確認できないファイル」として、ダウンロードや実行の中止を推奨されることがあります。セキュリティソフトウェア上で処理を許可するか、セキュリティレベルを変更することで続行できますが、ご所属の組織の指針等に従ってご対応ください。
2. 過去のバージョンの wivia ファームウェアは、本バージョンの wivia ソフトウェアと一定の互換性はありますが、すべての機能および性能の互換性を保証するものではありません。本バージョンの wivia ファームウェアをお使いください。
3. Windows 用 wivia ソフトウェアの画面投影モードの変更には、wivia ソフトウェアの再起動が必要です。設定変更後に再起動を促すメッセージが表示されますが、ここでキャンセルした場合は投影モードの設定変更は適用されません。設定の変更は wivia ソフトウェアの再起動を行った場合にのみ適用されます。
4. セキュリティソフトウェア等により、USB メモリーへのアクセスがブロックされることがあります。この場合、USB メモリーから wivia ソフトウェアを利用するには、セキュリティソフトウェアの例外に登録したりセキュリティレベルを変更したりするか、システム管理者にお問い合わせください。
5. 一部のポップアップ画像やオーバーレイ要素等は wivia 本体に正しく投影されないことがあります。この場合、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。
6. 一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェアと wivia の画面投影機能との併用ができないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアの場合は、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。
7. 一部のシンクライアント環境では wivia ソフトウェアが正しく動作せず、シンクライアント環境に深刻な影響を与える場合があります。シンクライアント環境での wivia の使用をご検討の場合は、弊社または販売店までお問い合わせください。
8. カンファレンスコントロールでは wivia ソフトウェアからの画面投影や動画再生の開始操作を制限します。すでに画面投影中または動画再生中の wivia ソフトウェアでは、画面投影の一時停止および終了、動画の一時停止および停止等の操作が可能です。

9. 電子黒板機能等を搭載したタッチパネルディスプレイ、インタラクティブユニット、プロジェクター等の装置を wivia 本体に USB 接続してお使いの場合、一部の機器では電子黒板やタッチパネル機能が正常に動作しなかったり、機能の一部が動作しなかったりすることがあります。
10. Windows 10 搭載の PC でリモート USB 接続モードをお使いの場合、PC の機種によっては、本ソフトウェアに加え、別途「wivia 拡張表示ドライバー」のインストールが必要な場合があります。
11. wivia 本体の無線 LAN クライアント機能では、一部の無線 LAN アクセスポイントに対し正常に接続できなかったり、接続時に十分な通信性能を維持できなかったりすることがあります。
12. 本製品は 24 時間 365 日の連続動作を保証していません。本製品の使用終了後は本体の電源を切ることを推奨します。

■ 既知の問題

1. 音声付き画面投影を行っても wivia 本体で音声再生されないことがあります。この場合、音声スピーカーのオーディオのハードウェアアクセラレータを無効にすることで、問題を回避することができます。この問題は一部の機種で発生します。
2. 投影元の PC 等からネットワークセグメントを越えて wivia をお使いの場合に、動画ファイルの再生に失敗することがあります。この場合、wivia と同じネットワークセグメントに PC 等を接続するか、通常の画面投影を用いて投影してください。
3. ディスプレイの拡大率が 100%以外に設定されている Windows で wivia ソフトウェアをお使いの場合に、PC の画面解像度が意図せず変更されることがあります。この場合、ディスプレイの拡大率を 100%に変更するか、wivia ソフトウェアの起動プロパティの「互換性」内にある「高 DPI 設定では画面のスケーリングを無効にする」を有効にすることで、問題を回避することができます。
4. Windows XP の管理者権限を持たない標準ユーザーで使用する場合において、あらかじめ画面のプロパティで wivia 拡張ディスプレイを利用しない設定にしていると、wivia ソフトウェアで拡張ディスプレイの表示が行われません。wivia 拡張ディスプレイを有効にして再度起動してください。
5. wivia ソフトウェアを実行中に OS を再起動すると、wivia ソフトウェアが変更した PC の設定が元に戻らないことがあります。この場合、手動で設定を変更してください。wivia ソフトウェアは、起動時に以下の設定を変更します。(お使いの設定や環境によっては、変更されないことがあります)

す。)

- 画面解像度
- 電源オプション (Windows のみ)
- 音声 (スピーカー) のミュート
- Windows Aero の無効化 (Windows Vista, 7 のみ)
- ハードウェアアクセラレータの設定 (Windows XP のみ)

6. wivia ソフトウェアの投影設定を変えながら画面投影を繰り返すと、wivia Snaps が利用できなくなる場合があります。wivia 本体および wivia ソフトウェアを再起動すると、問題が修正されます。
7. その他、wivia 本体や wivia ソフトウェアが動作を停止する等の問題が発生した場合は、wivia 本体の再起動 (本体の電源スイッチを OFF し、再度 ON) や wivia ソフトウェアの再起動を行なってください。

■ 関連する資料

wivia 本体、および wivia ソフトウェアの詳細な使い方については、『wivia 取扱説明書』をご覧ください。これらは wivia サポート Web サイトからダウンロードできます。

以上